

【水路横断構造物設計作業項目内訳表】《基本設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 現地調査	基本設計に必要な調査を行う。 （補足説明） 路線計画設計(基本設計)時に実施した現地調査結果の確認を行う。		
2 資料の検討	基本設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。		
3 設計計画			
3-1 基本条件の検討	概略実測資料に基づく水理構造条件の概略を決定する。 （補足説明） 貸与資料、現地調査等から基本条件を 1/1,000 地形図で検討し、決定する。		
3-2 型式、規模及び構造の検討	型式、規模、構造を比較検討し、概略を決定する。 （補足説明） 立地条件、基本条件に適合する型式、規模、構造を 2 ケース立案し、比較検討のうえ、決定する。		
4 水理、構造計算	規模検討のための水理計算を行う。管体の構造計算を行う。 （補足説明） 標準断面を対象に構造計算を行う。		
5 構造図作成	構造一般図、構造図、配筋図を作成する。 （補足説明） 標準断面の図面を作成する。		
6 数量計算	土工、コンクリート、型枠、鉄筋、附帯施設等の数量計算を行う。 （補足説明） 数量計算は、標準断面より求める。ただし、附帯施設は、箇所当たり数量として求める。		
7 特別仕様書作成	主要なものについて特別仕様書を作成する。		
8 概算工事費積算	主要単価を作成し、概算工事費を算定する。 （補足説明） 仮設費は率計上による。		
9 総合検討	前項までの作業について総合的な検討を行い、今後の作業についてコメントを付記する。		
10 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
11 点検取りまとめ	成果資料の点検、取りまとめを行い、報告書を作成する。		

【水路横断構造物設計作業項目内訳表】《実施設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 現地調査	実施設計に必要な調査を行う。 （補足説明） 路線計画設計（実施設計）及び基本設計時に実施した現地調査結果の確認を行う。		
2 資料の検討	実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。		
3 設計計画			
3-1 基本条件の検討	詳細実測資料に基づく水理構造設計条件の詳細を決定する。 （補足説明） 貸与資料、現地調査等から指示する基本条件を 1/500 地形図で検討し、決定する。		
3-2 型式、規模及び構造の検討	型式、規模、構造を決定する。 （補足説明） 基本設計を確認し型式、規模及び構造について立地条件等を一部考慮して決定する。		
4 水理構造計算	実施断面毎の水理計算及び各種損失水頭の計算を行う。各断面についての構造計算を行う。		
5 構造図作成	構造一般図、構造詳細図、配筋図、鉄筋加工図を作成する。 （補足説明） 実施断面の詳細図等を作成する。		
6 数量計算	土工、コンクリート、型枠、鉄筋、附帯施設等の詳細数量計算を行う。 （補足説明） 数量計算は、数量計算運用規定に基づき求める。		
7 概算工事費積算	各工種の単価を作成し、概算工事費を算定する。		
8 総合検討	上記の各作業について総合的に検討を行う。		
9 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
10 点検取りまとめ	水理構造計算、数量計算の点検、図面の点検を行い、取りまとめ及び報告書作成を行う。		